

# がん患者調査

肺 (325件中)

問番号	内容	すべての回答						"0"			"0"以外				
		件数	平均	中央値	標準偏差	最大値	最小値	件数	平均	中央値	標準偏差	件数	平均	中央値	標準偏差
Q1-2	片道の通院時間	322	67.88	50.	168.37	3,000	5								
Q1-3	往復交通費 - 本人	259	2,271.54	1,050.	4,729.72	50,000	0	12	(4.6%)	2,381.90	1,100.	4,816.03			
	往復交通費 - つきそい	112	3,123.39	1,070.	8,392.91	61,000	0	6	(5.4%)	3,300.19	1,100.	8,593.29			
Q1-4	1ヶ月の通院回数	197	2.91	2.	3.93	30	1								
	1年間の通院回数	215	14.02	10.	15.10	144	1								
Q1-5	(現在も含め)これまで受診した病院・診療所の数	314	1.82	2.	0.89	5	0	9	(2.9%)	1.87	2.	0.85			
Q1-6	これまで入院した回数	315	1.94	1.	1.74	12	0	10	(3.2%)	2.01	1.	1.73			
Q1-7	昨年1年間の合計入院期間	266	26.62	10.5	40.75	260	0	119	(44.7%)	48.18	30.	44.34			
Q4-1	入院分(月)	123	108,398.43	40,200.	168,225.49	845,800	0	52	(42.3%)	187,788.83	120,000.	184,710.07			
	外来分(月)	223	21,344.57	8,000.	30,693.44	150,000	0	31	(13.9%)	24,790.82	10,825.	31,760.97			
	入院分(年)	150	396,783.03	149,260.	657,441.77	6,000,000	0	46	(30.7%)	572,283.21	412,930.	723,168.30			
	外来分(年)	212	114,857.45	40,000.	207,529.27	1,500,000	0	21	(9.9%)	127,485.76	50,000.	214,927.28			
Q4-2	健康食品・民間療法(月)	207	21,692.11	8,000.	43,659.53	400,000	0	78	(37.7%)	34,808.27	20,000.	51,011.39			
	健康食品・民間療法(年)	205	156,151.26	40,000.	273,834.21	2,041,200	0	77	(37.6%)	250,086.01	122,500.	310,808.11			
Q4-3	その他の支出額(月)	149	23,610.61	0.	67,563.31	500,000	0	102	(68.5%)	74,850.66	30,000.	103,131.17			
	その他の支出額(年)	153	41,062.89	0.	82,346.83	400,000	0	96	(62.7%)	110,221.44	100,000.	102,853.67			
Q4-4	保険料(月)	191	20,473.49	10,000.	29,555.02	200,000	0	39	(20.4%)	25,726.56	17,281.	31,023.82			
	保険料(年)	209	223,803.47	120,000.	313,835.60	2,400,000	0	32	(15.3%)	264,265.12	180,000.	324,971.98			
Q5-1	高額医療費として、戻ってきた金額	189	136,531.58	1,100.	231,286.75	1,450,495	0	90	(47.6%)	260,651.20	230,000.	264,144.17			
Q5-2	医療費還付として、戻ってきた税金	144	20,027.12	0.	72,389.13	501,000	0	111	(77.1%)	87,391.06	25,000.	130,304.49			
Q5-3	保険給付金(月)	151	170,509.38	0.	461,268.67	3,000,000	0	108	(71.5%)	598,765.51	350,000.	700,528.23			
	保険給付金(年)	178	478,442.75	0.	1,016,066.05	6,200,000	0	97	(54.5%)	1,051,392.70	500,000.	1,290,857.84			
Q10-1	年齢	324	66.34	67.	9.38	89	36								
Q10-2	がんと診断された時期 - "x年前"の回答	316	2.70	1.70	2.94	17.18	0.00								

# がん患者調査

乳房 (464件中)

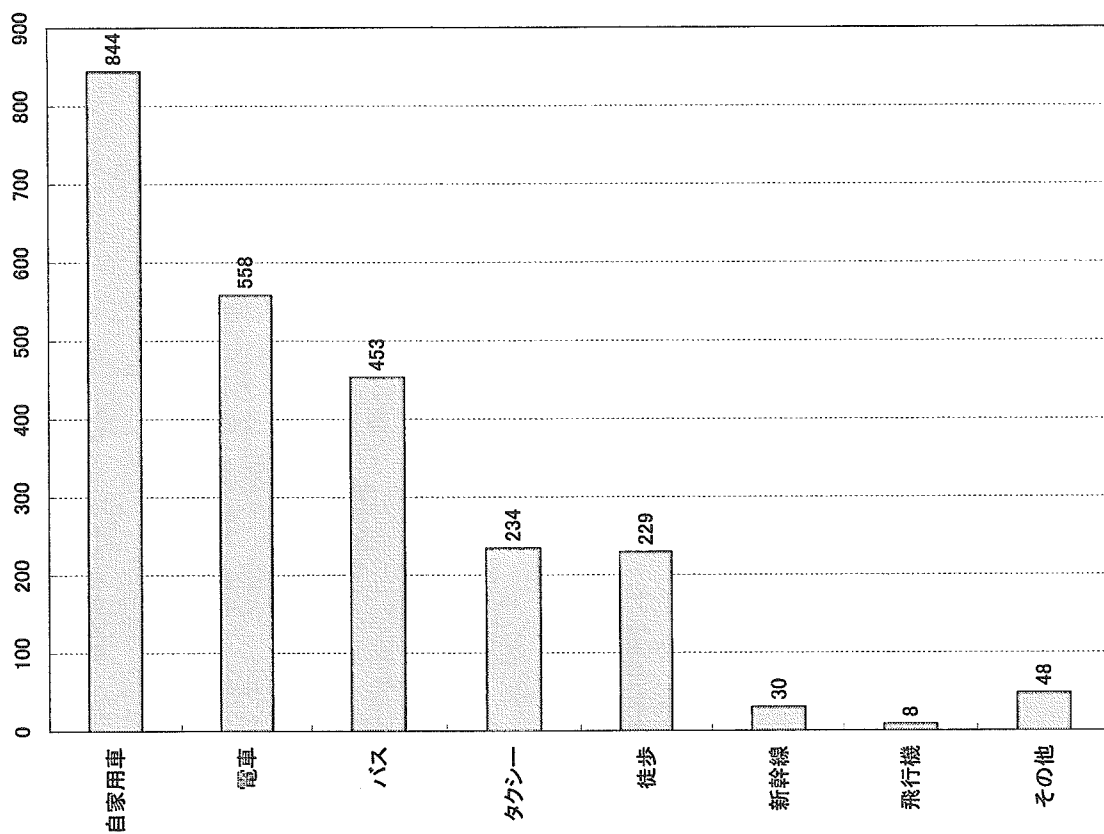
問番号	内容	すべての回答					"0"					"0"以外		
		件数	平均	中央値	標準偏差	最大値	最小値	件数	平均	中央値	標準偏差	回答件数	平均	中央値
Q1-2	片道の通院時間	456	53.72	50.	32.26	270	5							
Q1-3	往復交通費 - 本人	348	1,707.35	1,000.	3,872.03	50,000	0	11 (3.2%)			337 (96.8%)	1,763.08	1,000.	3,922.21
	往復交通費 - つきそい	74	1,612.84	1,000.	2,772.92	20,000	0	17 (23.0%)			57 (77.0%)	2,093.86	1,100.	2,995.85
Q1-4	1ヶ月の通院回数	217	3.43	2.	4.87	30	1							
	1年間の通院回数	322	12.74	5.	16.77	105	0	1 (0.3%)			321 (99.7%)	12.78	5.	16.78
Q1-5	(現在も含め)これまで受診した病院・診療所の数	444	1.81	2.	1.25	21	0	11 (2.5%)			433 (97.5%)	1.86	2.	1.23
Q1-6	これまで入院した回数	453	1.74	1.	3.00	35	0	20 (4.4%)			433 (95.6%)	1.82	1.	3.04
Q1-7	昨年1年間の合計入院期間	396	7.36	0.	13.31	105	0	204 (51.5%)			192 (48.5%)	15.19	10.	15.71
Q4-1	入院分(月)	159	54,434.35	0.	115,564.95	733,050	0	114 (71.7%)			45 (28.3%)	192,334.71	171,270.	143,755.17
	外来分(月)	316	29,643.01	19,725.	37,079.96	200,000	0	42 (13.3%)			274 (86.7%)	34,186.83	21,000.	37,819.83
	入院分(年)	230	181,786.14	119,882.5	348,589.72	4,500,000	0	79 (34.3%)			151 (65.7%)	276,892.80	200,000.	398,439.97
	外来分(年)	350	168,264.46	85,360.	237,668.91	1,370,225	0	26 (7.4%)			324 (92.6%)	181,767.17	100,000.	242,002.13
Q4-2	健康食品・民間療法(月)	290	19,166.40	3,890.	69,753.27	1,000,000	0	123 (42.4%)			167 (57.6%)	33,282.98	11,350.	89,326.72
	健康食品・民間療法(年)	310	112,040.04	30,000.	201,647.59	1,400,000	0	111 (35.8%)			199 (64.2%)	174,534.73	100,000.	228,986.75
Q4-3	その他の支出額(月)	226	21,435.18	0.	52,831.19	300,000	0	164 (72.6%)			62 (27.4%)	78,134.68	50,000.	75,788.77
	その他の支出額(年)	271	64,720.88	10,000.	109,714.82	700,000	0	132 (48.7%)			139 (51.3%)	126,182.43	80,000.	125,351.97
Q4-4	保険料(月)	265	18,819.16	12,785.	51,605.66	787,000	0	51 (19.2%)			214 (80.8%)	23,304.10	15,000.	56,509.30
	保険料(年)	295	186,659.39	150,000.	174,276.48	1,129,995	0	33 (11.2%)			262 (88.8%)	210,169.92	158,722.5	171,045.61
Q5-1	高額医療費として、戻ってきた金額	278	86,622.22	2,539.5	162,013.18	1,102,455	0	138 (49.6%)			140 (50.4%)	172,006.99	123,010.	193,480.73
Q5-2	医療費還付として、戻ってきた税金	247	12,193.47	0.	33,775.63	300,000	0	173 (70.0%)			74 (30.0%)	40,699.81	21,620.	51,454.64
Q5-3	保険給付金(月)	203	102,453.20	0.	403,938.97	3,654,000	0	178 (87.7%)			25 (12.3%)	831,920.00	550,000.	847,381.56
	保険給付金(年)	278	370,527.34	0.	779,914.54	5,776,127	0	147 (52.9%)			131 (47.1%)	786,309.92	380,000.	981,779.77
Q10-1	年齢	463	56.24	55.	10.99	87	25							
Q10-2	がんと診断された時期 - "x年前"の回答	461	3.15	1.78	3.81	29.50	0.06							

# がん患者調査

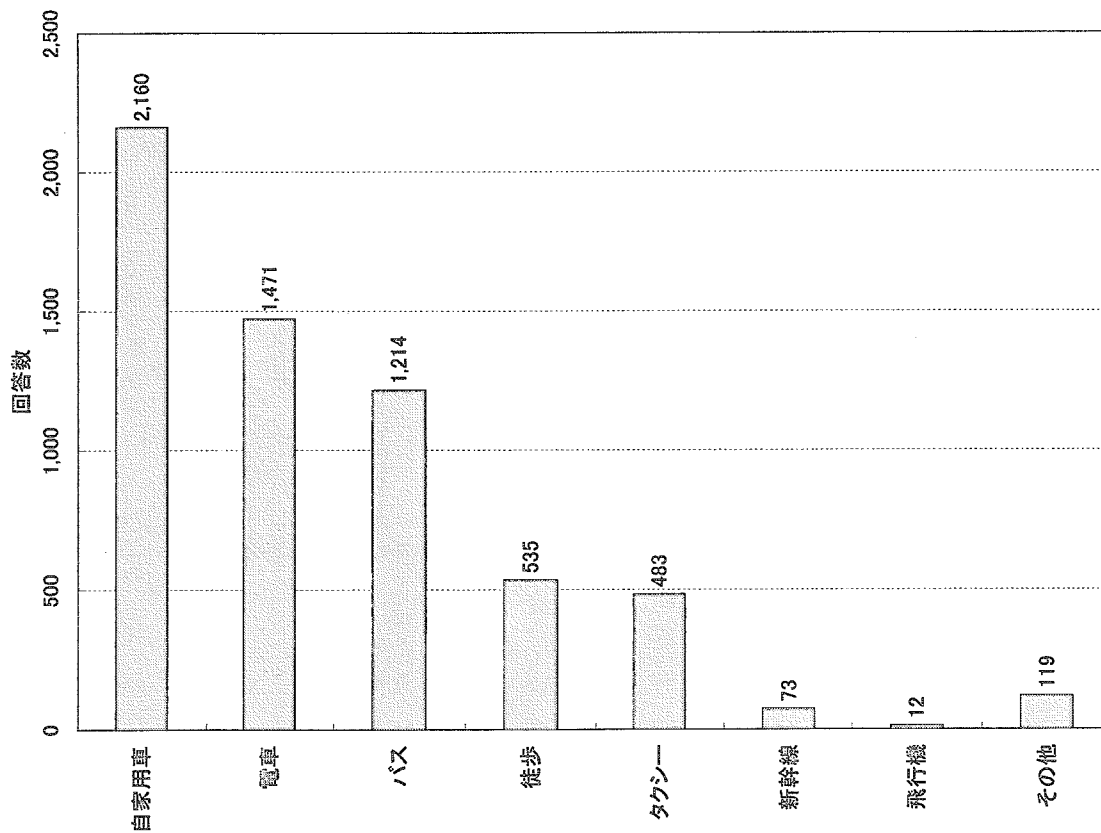
前立腺 (625件中)

問番号	内容	すべての回答					"0"以外				
		件数	平均	中央値	標準偏差	最小値	回答件数	平均	中央値	標準偏差	
Q1-2	片道の通院時間	609	47.55	40.	40.61	450	390 (92.4%)	2,035.37	1,000.	3,937.95	
Q1-3	往復交通費 - 本人	422	1,881.03	910.	3,823.85	50,000	105 (77.2%)	2,058.46	1,060.	3,262.43	
	往復交通費 - つきそい	136	1,589.25	840.	2,993.84	20,000	0	1.83	1.	3.06	
Q1-4	1ヶ月の通院回数	382	1.82	1.	3.06	26	0				
	1年間の通院回数	448	11.79	10.	15.69	200	1				
Q1-5	(頭をもめ)これまで受診した病院・診療所の数	596	1.69	2.	0.80	5	0	11 (1.8%)	2.	0.77	
Q1-6	これまで入院した回数	569	1.31	1.	1.21	12	0	97 (17.0%)	1.58	1.15	
Q1-7	昨年1年間の合計入院期間	500	10.74	3.	20.35	160	0	219 (43.8%)	11.	24.02	
Q4-1	入院分(月)	142	89,461.34	0.	212,975.46	1,450,000	0	86 (60.6%)			
	外来分(月)	430	17,935.34	10,000.	24,437.11	210,000	0	41 (9.5%)			
	入院分(年)	218	219,597.14	60,650.	318,652.65	1,900,000	0	58 (26.6%)			
	外来分(年)	456	143,016.18	100,000.	199,576.57	3,000,000	0	21 (4.6%)			
Q4-2	健康食品・民間療法(月)	331	14,796.59	3,000.	49,753.83	600,000	0	141 (42.6%)			
	健康食品・民間療法(年)	379	156,218.33	20,000.	531,327.24	6,000,000	0	149 (39.3%)			
Q4-3	その他の支出額(年)	213	1,637.16	0.	7,068.70	70,000	0	192 (90.1%)			
	保険料(年)	277	25,812.68	0.	88,204.58	1,000,000	0	198 (71.5%)			
Q4-4	保険料(月)	274	18,204.27	8,550.	27,576.28	220,000	0	79 (28.5%)			
	保険料(年)	377	185,062.98	100,000.	245,921.00	1,680,000	0	81 (21.5%)			
Q5-1	高額医療費として、戻ってきた金額	386	46,098.89	2,750.	115,038.94	1,200,000	0	181 (46.9%)			
Q5-2	医療費還付として、戻ってきた税金	291	12,968.62	0.	40,348.47	400,000	0	215 (73.9%)			
Q5-3	保険給付金(月)	238	23,074.90	0.	138,928.70	1,400,000	0	218 (91.6%)			
	保険給付金(年)	344	183,334.90	0.	476,833.82	5,000,000	0	223 (64.8%)			
Q10-1	年齢	623	71.71	72.	7.24	92	49				
Q10-2	がんと診断された時期 - "x年前"の回答	614	3.16	2.07	3.20	24.43	0.01				

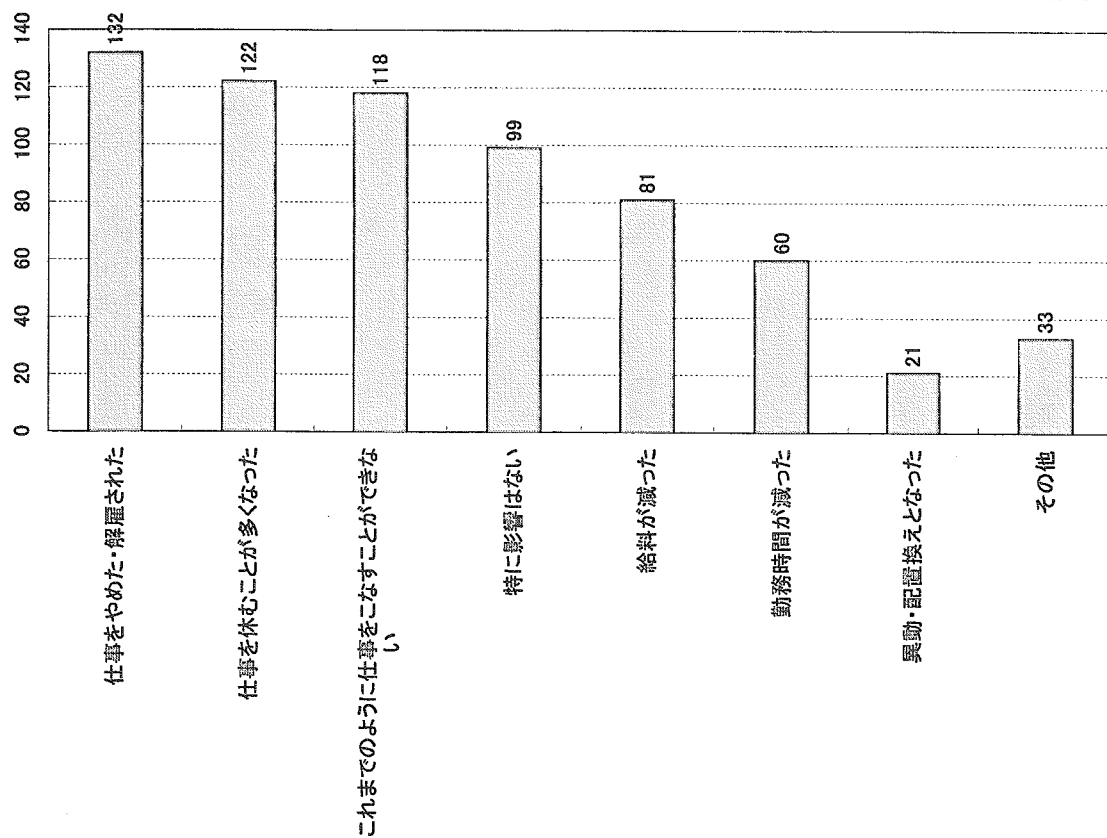
Q1-1 自宅から病院までの交通手段 - 治療継続中  
(n = 1,601, 複数回答)



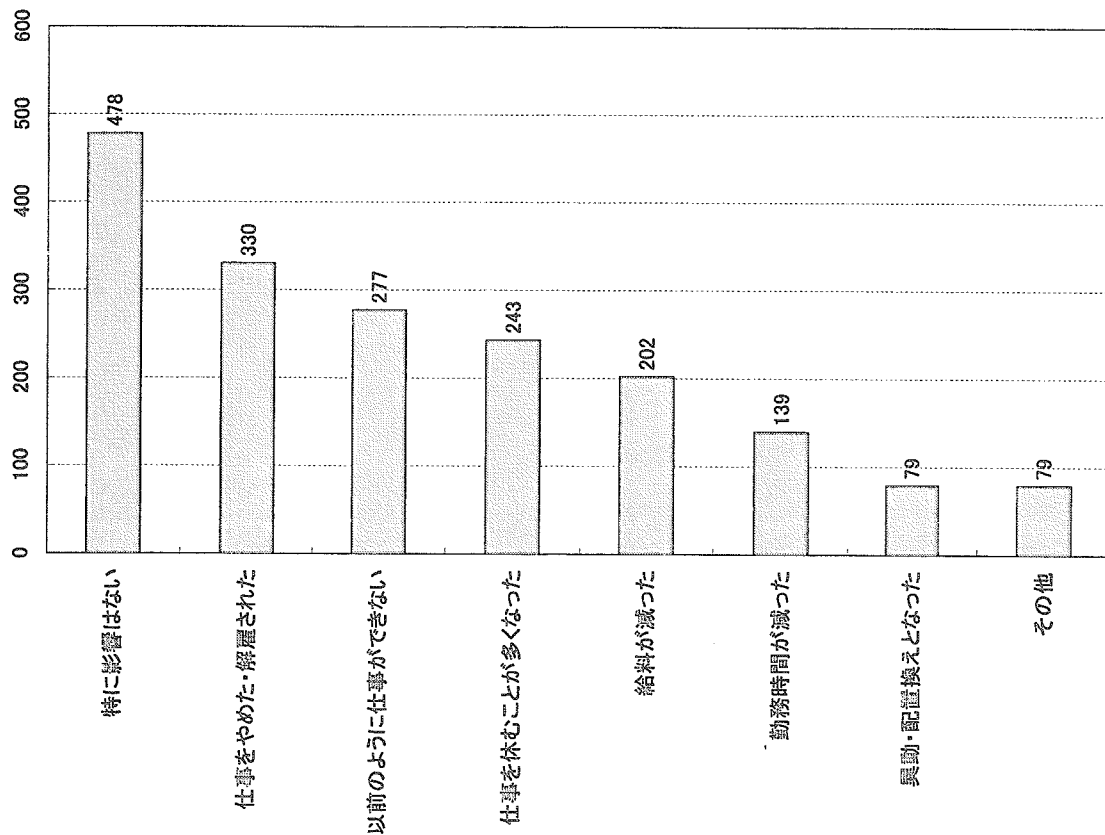
Q1-1 自宅から病院までの交通手段  
(n = 4,125, 複数回答)



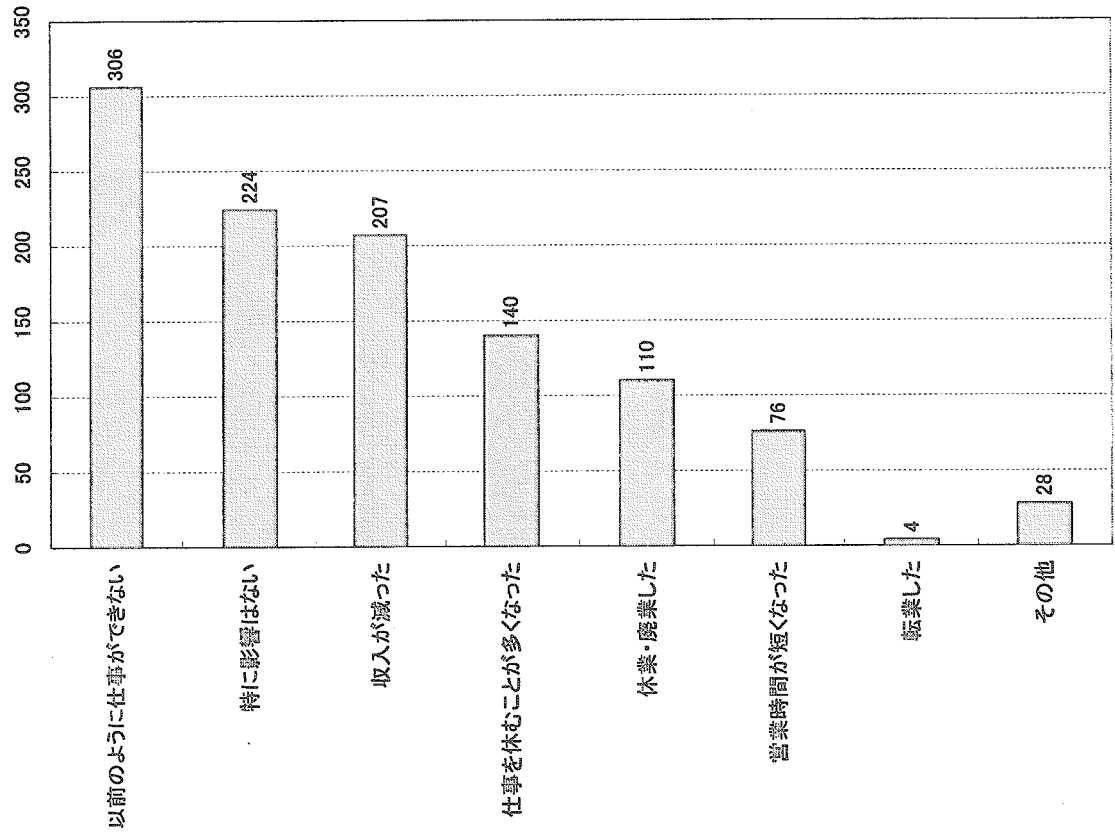
Q2 仕事への影響 - お勤めの方 - 治療継続中  
(n = 458, 複数回答)



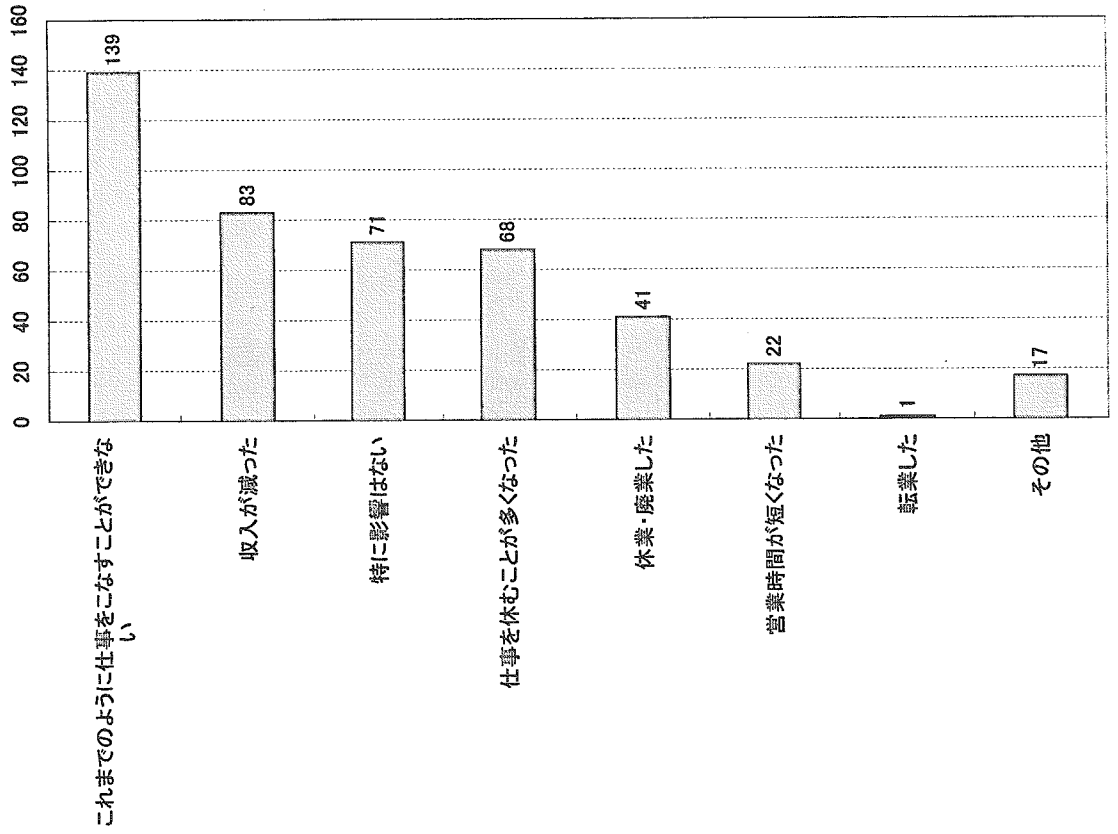
Q2 仕事への影響 - お勤めの方  
(n = 1,328, 複数回答)

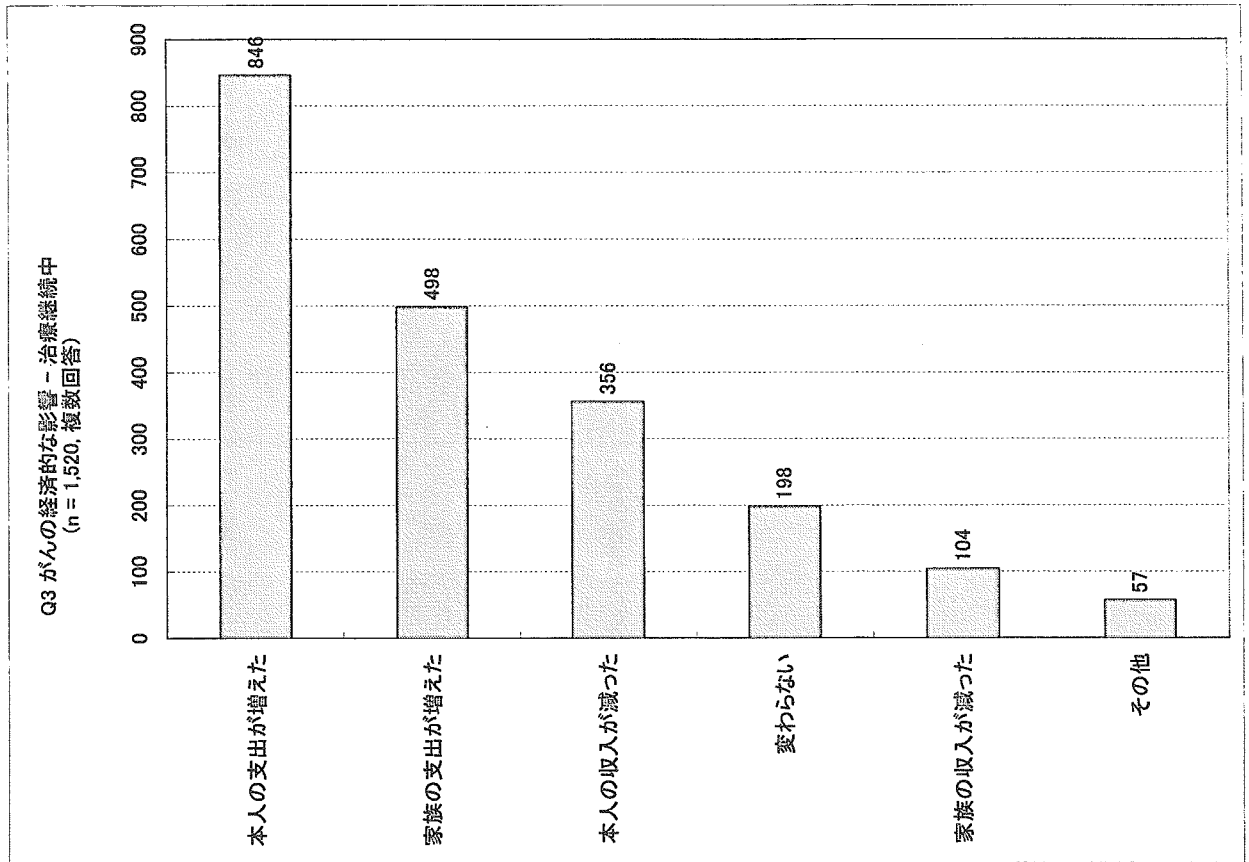
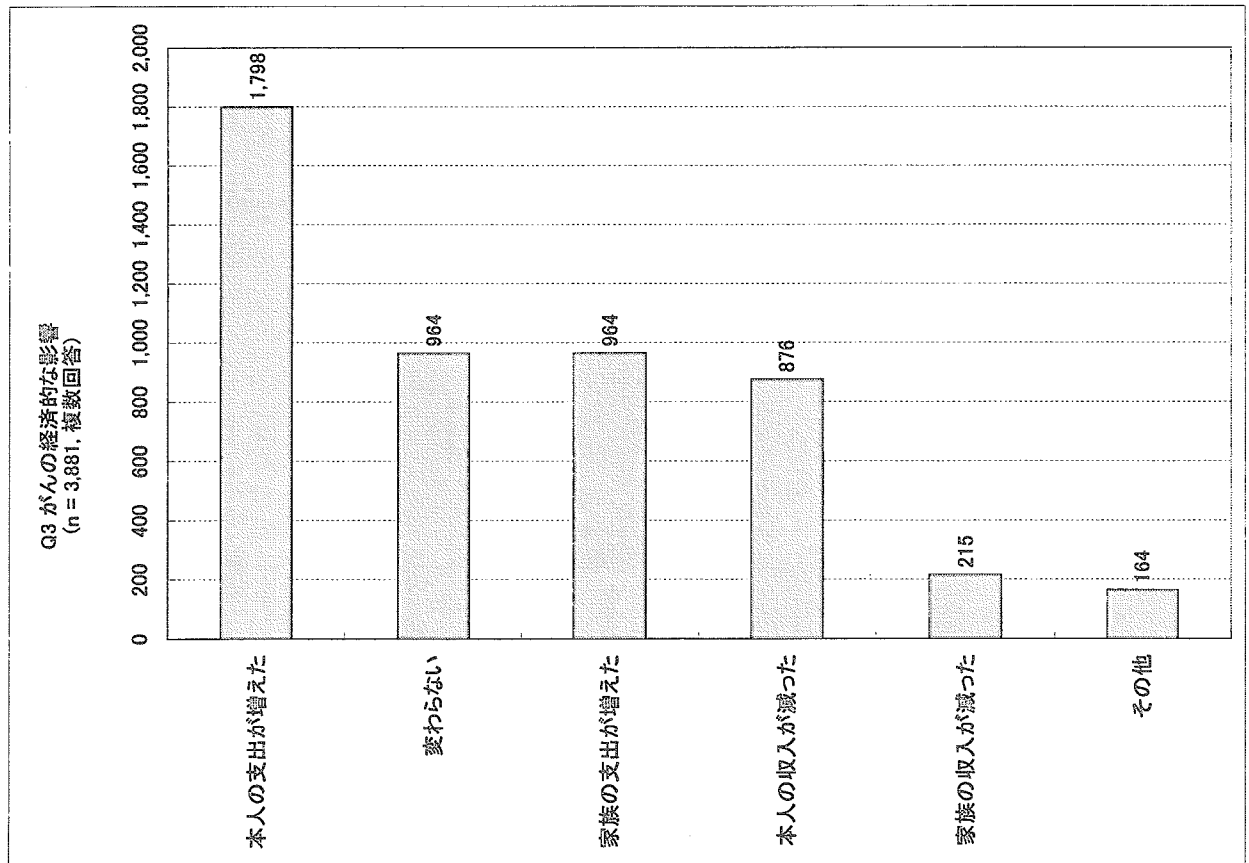


Q2 仕事への影響 - 自営業  
(n = 692, 複数回答)

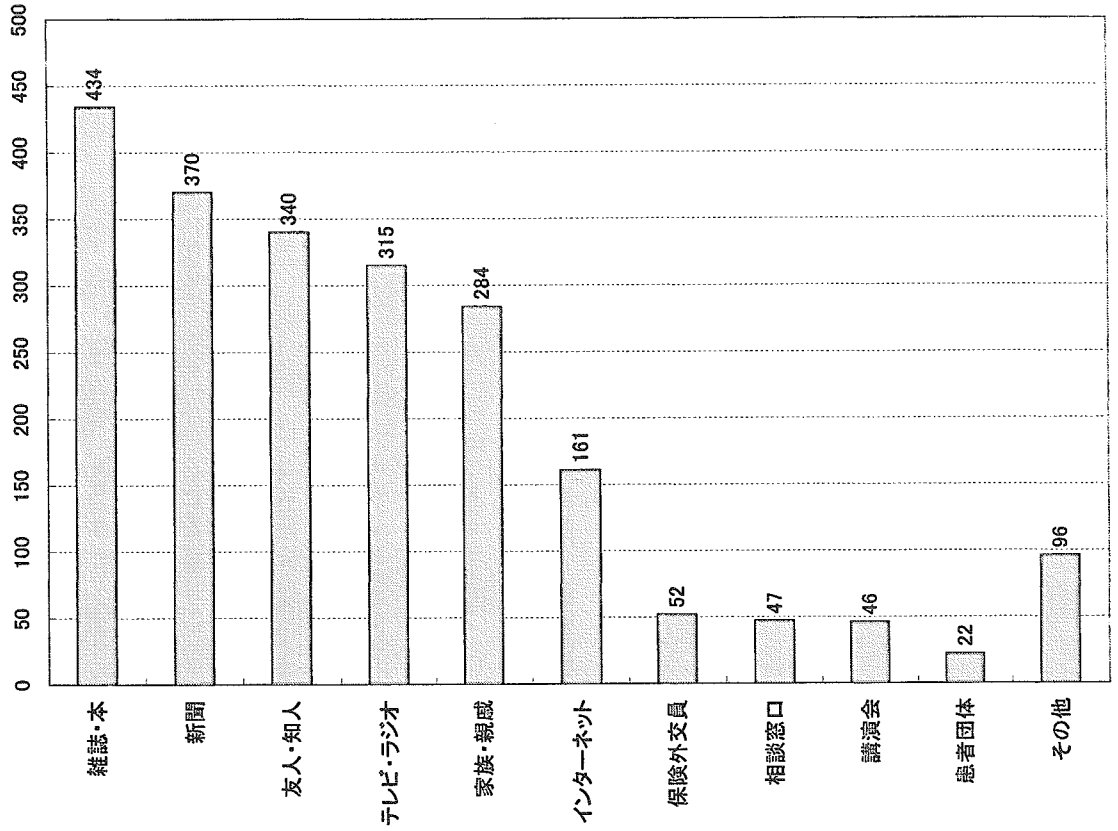


Q2 仕事への影響 - 自営業 - 治療継続中  
(n = 268, 複数回答)

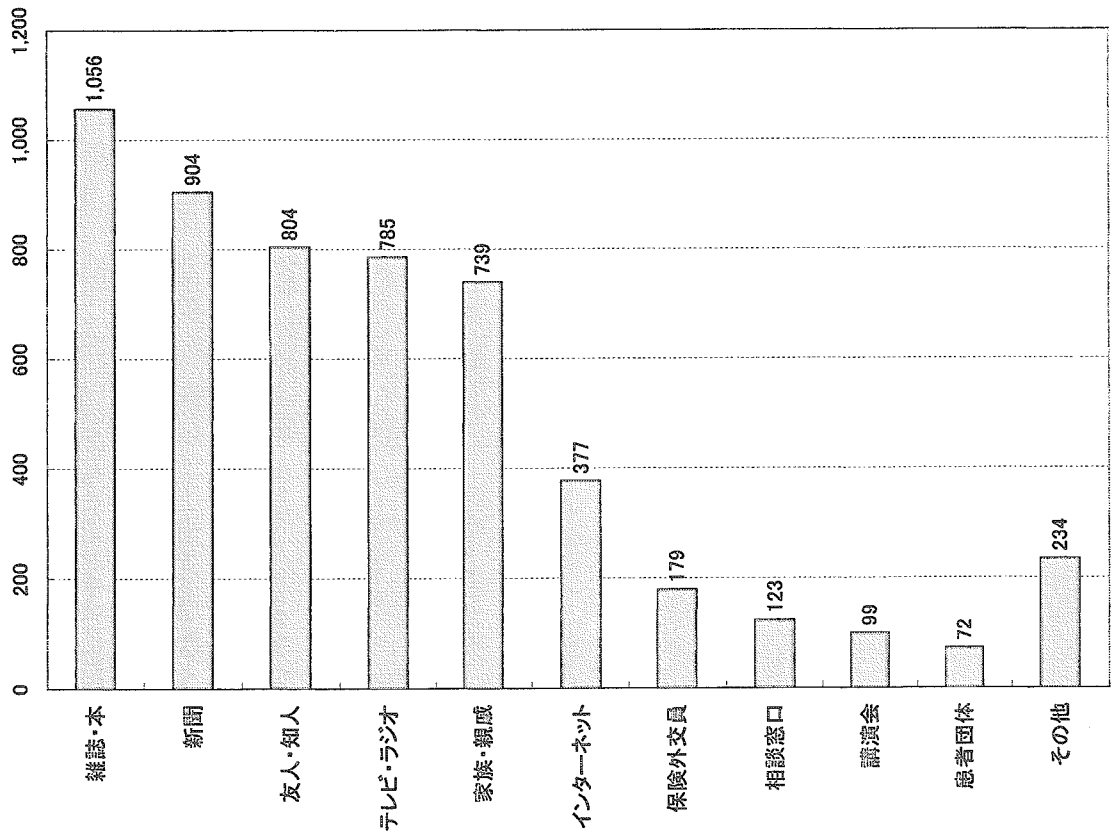




Q7 がんの経済的負担についての情報源 - 治療継続中  
(n = 1,210, 複数回答)

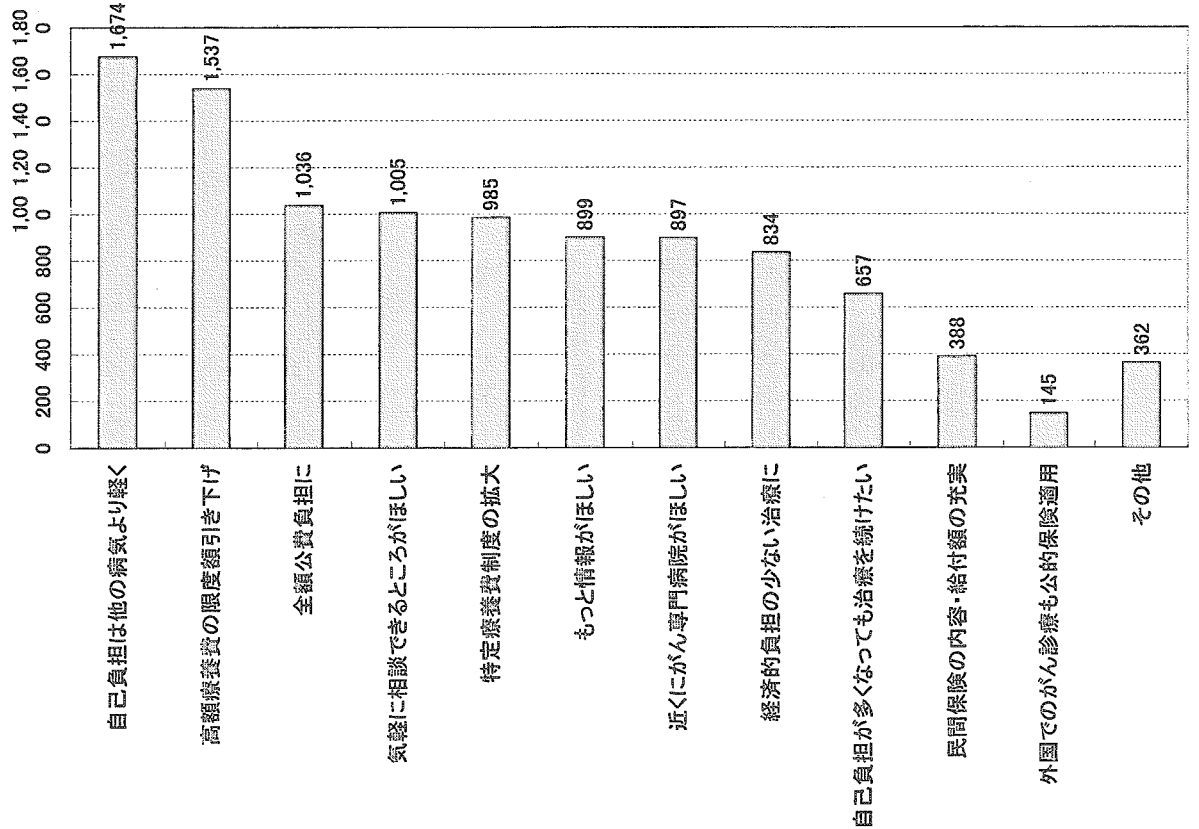


Q7 がんの経済的負担についての情報源  
(n = 3,083, 複数回答)

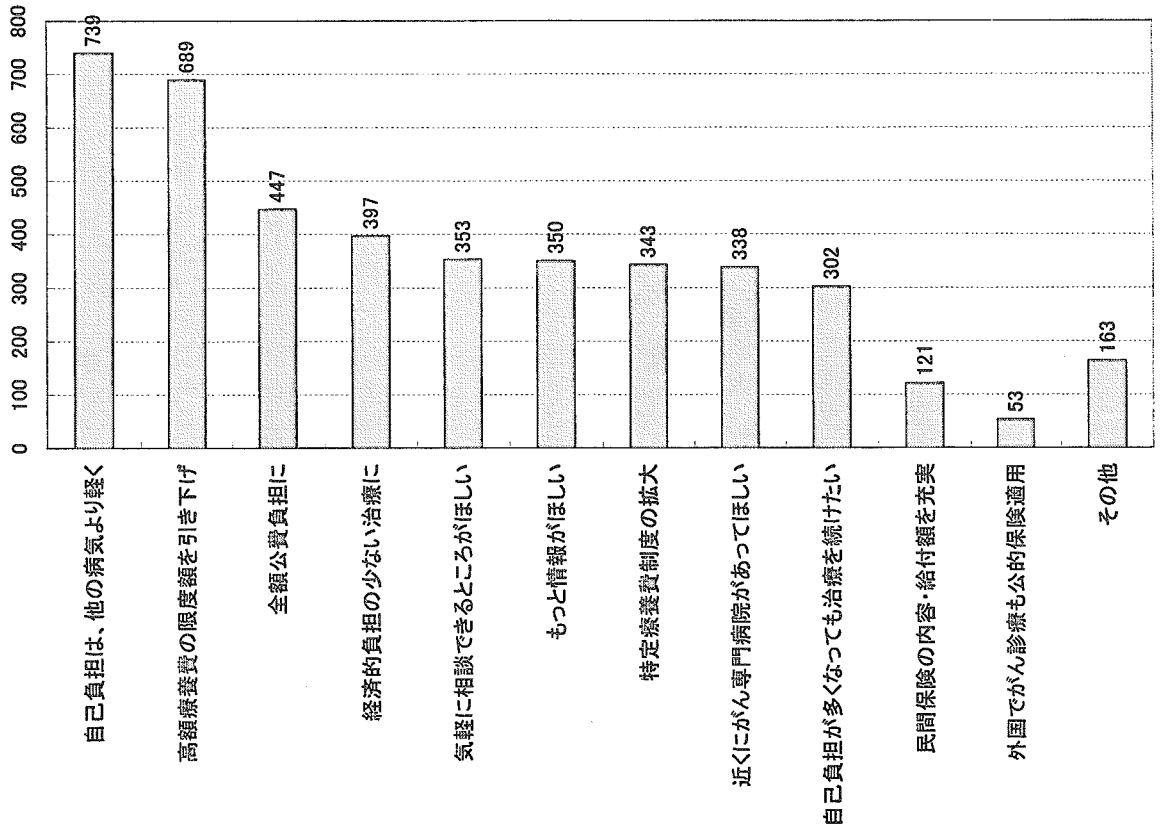


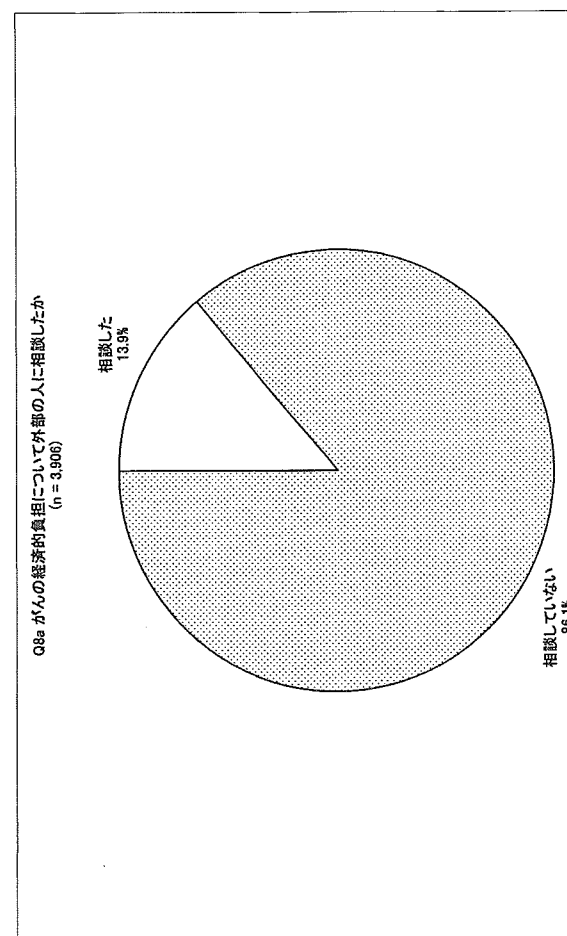
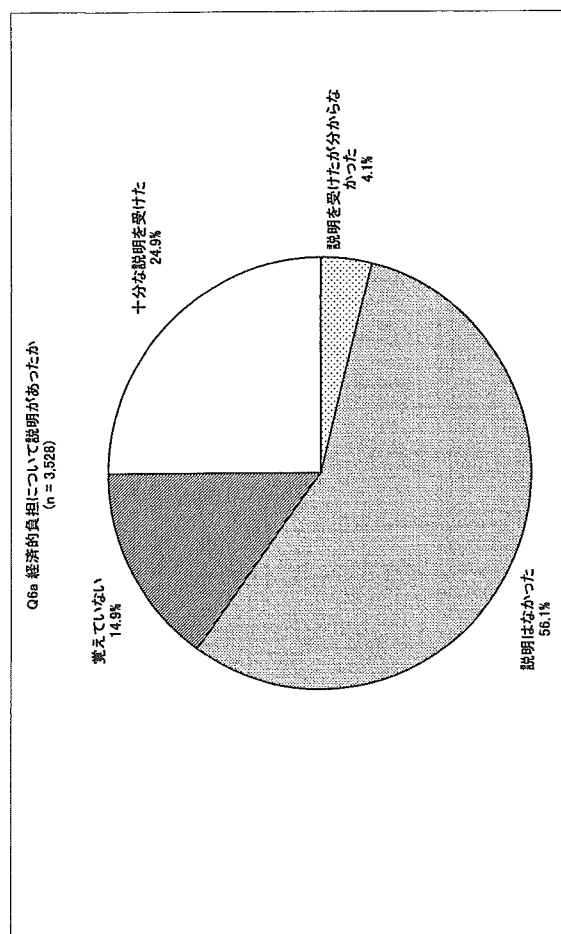
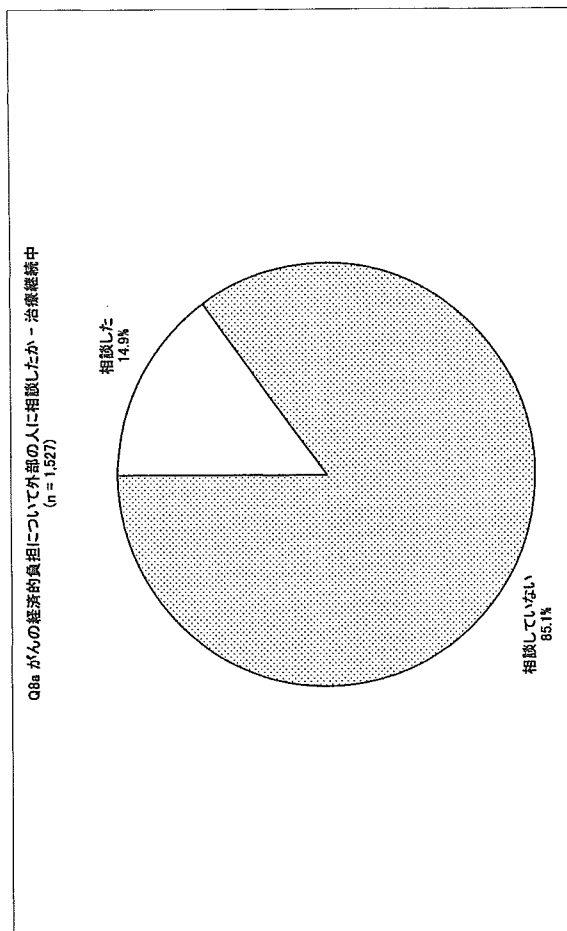
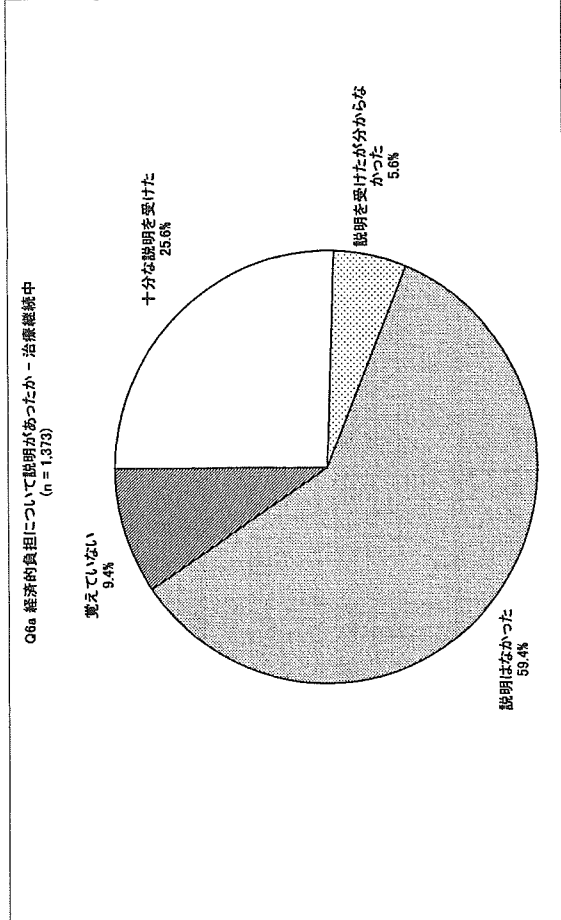


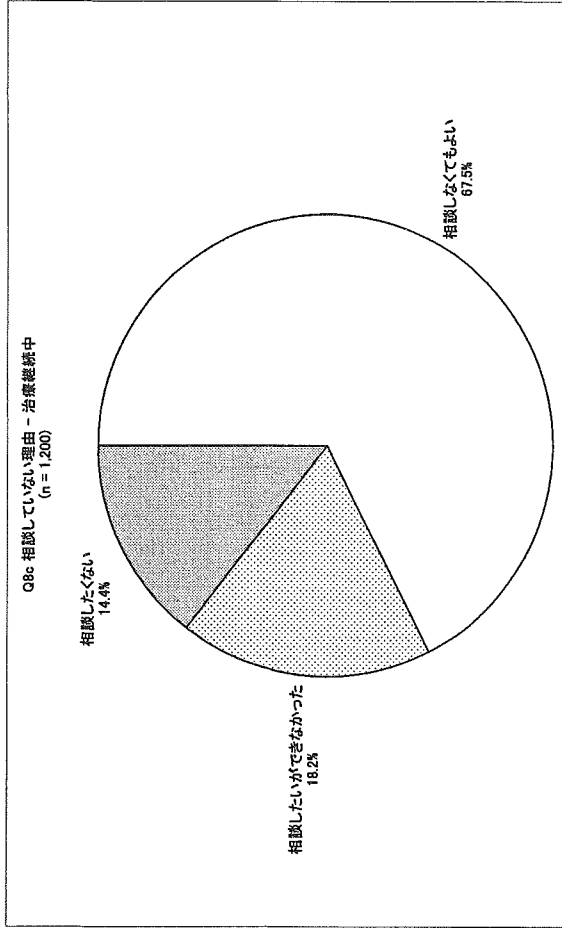
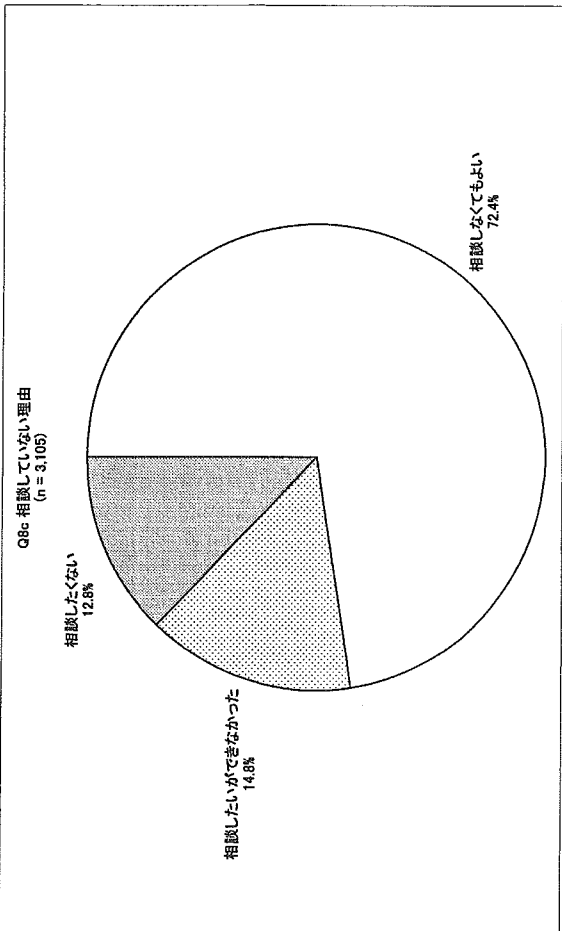
Q9 がんの経済的負担について特に希望するもの  
(n = 3,771, 複数回答)



Q9 がんの経済的負担について特に希望するもの - 治療継続中  
(n = 1,507, 複数回答)







患者調査自由回答(抜粋)

制度	
1.	保険適用の抗がん剤の拡大を希望する。保険適用の抗がん剤治療薬のコストを引き下げてもらいたい。(がん診療だからと全額公費負担は望まない)現在受けている治療に対しての自己負担は自分の現在の生活水準ではいっぱいである。
2.	現状の老人医療費負担を増額しないようお願いしたい。
3.	効果が認められている、公的保険対象外治療に対し、国民健康保険適用認定を速やかに、且つ広範囲に進めてもらいたい。
4.	高額療養費の申請は毎月毎なので、限度額に近い負担額でも申請できない事情が、社会保険制度ではある。それを年間にいくら負担したかによって申請できる制度も考えて頂きたい。
5.	未承認薬の使用に関しても、保険が適用されるよう、制度を変えてほしい。
6.	所得に応じて自己負担の割合と公費負担額について限度額を設けて欲しいが、できれば自己負担の軽減を図って欲しい。
7.	がん診療をすべて保険適用にしてほしい。新しい治療を受けやすいと思うし、治療の期間はどうしても収入も減少してしまうから。治療の期間が長いので。
8.	標準治療は全額公費負担としても良いのでは。
9.	早く混合診療を認可してほしい。
10.	最近、障害者の雇用促進が図られていますが、がん患者も安易に解雇されることのないよう、がん患者の雇用と雇用継続を促す企業の社会的責任を図る制度のようなものが確立されるといいなと思っております。
11.	抗がん剤の保険適用を拡げてほしい。病気によってはあまりにも少ない。
12.	高額療養費を1ヶ月単位でなく、一年間くらいのトータルにしてほしい。毎月6万円ぐらいだと、全然支給がなくて負担が大きい。
13.	保険対象外の薬を使っても、他の面は保険の対象にすべきである。
14.	高齢者の医療負担は1割では若い人が気の毒です。税金も保険料も支払っていないのに恩恵だけ受けるのは不公平です。3割負担にすべきです。そして、がん征圧に役立てて欲しいものです。
15.	代替医療の健康保険の適用。がんによる介護、介護用品の必要な場合の介護保険の適用。
16.	医療制度全般として、混合診療が認められるようにしてほしい。
17.	高額療養費は、後で戻るのではなくて差額だけ支払うようなシステムにして欲しい。
18.	障害者なので医療費は還付されますが、患者から請求するのではなく、病院から直接県や国などに請求して頂けたら良いのですが。
19.	高額療養費を一時自己負担して、戻る期間は5ヶ月かかったが、せめて一月位で戻してほ

	しい。
20.	老人医療のため、負担が少なく大変助かった。高額療養費の金額限度を引き下げるより対象年令を引き下げ、老人医療でなくとも同等の負担で済めばと思う。
21.	高額療養費制度を月単位でなく、年間で計算するようにしてほしい。
22.	健康保険で医療費は本人の場合1割負担にしてほしいです。
23.	早くクレジットカード払い、通帳カード払いを実施してほしい。
24.	がんも全て公費適用適用→特定疾患扱いにしてほしい。
25.	介護保険の適用。自己負担を10%位にしてもらいたい。

自己負担	
1.	70才以上のため、あまり負担はなし。
2.	負担が少しでも軽くなるようにお願いしたいです。
3.	今年1月から9月までで約150万円支払っています。今では健康食品などは買うのを止め病院の薬だけで治療しています。少しでも自己負担が少なくなることを願います。
4.	身障一級者なので、経済的負担について希望することはない。
5.	治療費が高い。結局、お金がないと良い治療が受けられない。家族に負担をかけてしまって申し訳ないと思う。病気のせいで働くこともできず歯がゆい。
6.	これだけの治療を受ければ治るというのでしたら、いくらお金がかかっても、借金してでも治療は受けさせたいと思います。もちろん負担が少ないにこしたことはありません。
7.	1人暮らしでアパートの家賃(40,000)を支払いながら、少ない年金で治療費を払いながらの生活は苦しい。入院、薬代も苦しいです。
8.	手術後も、抗がん剤治療など長期に渡って負担が続きます。通院も含めて何らかの助成があると助かります。
9.	薬と検査と治療費がとて高くて困っています。何とか薬代や治療費・検査代を安くしてほしいと思います。
10.	市内の病院で診断して紹介状をもらって専門医に行きましたので別に問題はない。自己負担金については、いたしかたないと思います。軽い方がよいとは、みんなが思うと考えます。
11.	老人保健のため金はあまりかからない方なので特に問題はない。
12.	私は、現在1人暮らしの65才です。今年8月乳がんになり、仕事も辞め毎日病気に負けないう、がんばっております。もう収入もありません。少しばかりの年金で暮らして居ります経済的に困っております。
13.	病気になると体力も落ち、満足に働けないのに医療費が高い。医療を受けるために働いているようなもの。体に負担をかけながらの通院はつらい。でも支払えないと待つのは苦痛か死。ひどい。くやしい。

14.	がんの治療で外科と内科にかかっているので負担がとて多くて、本当に大変です。生きてると悪いような気がして、家族にも申し訳ないと思います。
15.	民間保険の入院給付金の限度日数 120 日分を使いってしまったので、高額療養費のみが頼り。来年以降は保険の給付がないので相当負担になりそう。食事代雑費等、高額療養費対象外もあるし。
16.	老人保健適用させて頂き助かりました。
17.	東京都は、高齢者負担が 10%なので、通院だけなら、さほど高くはない。
18.	患者の立場から言えば費用は少ない方が望ましいが適正な金額であればいたしかたないと思う。
19.	今社会保険と老人保健で治療しています。市より自己負担が半分還りますので今の所お金には負担ありません。
20.	生きたいが、治療費が高すぎて治療ができないなどないよう一日も早く治療費が軽減することを祈っています。
21.	老人保健ですので助かります。
22.	今まで健康体だったので、この不景気で私の保険を見直したことを大変後悔しています。治療費の負担、抗がん剤、高額療養費等負担が大きすぎ、経済的に大変です。
23.	抗がん剤を一生飲みつづけた方が良いと言われ飲んでいますが1ヶ月1万円の薬代このまま払って薬が飲むことができるか、年金生活に入るので不安を抱えています。
24.	自己負担が多くなりましても、最善の治療をしていただきたい。
25.	1割負担で家計への負担は軽い。

情報	
1.	がんセンターには是非“セカンドオピニオン”が必要です。先生の中には機械的に診断しかしてくれない人もいますし、看護師さんの方が相談し易いし詳しく説明してくれます。
2.	治療中の経費についても治療方針の説明と一緒に話してほしい。
3.	別に先生から説明がなかった。
4.	治療開始前に手術や、抗がん剤治療でいくらの負担となるか全く説明がなかったので、少なくとも説明をお願いしたい。又領収書に薬代、検査代、手術代など明細が記入されておらず、いまだに、内容がわからない。
5.	もっと相談の時間を医師と持ちたいが、いつも先生が忙しくしているので遠慮してしまう。もっと多くの情報が欲しいがその場がない。
6.	プライバシーを守られた上での医療情報の他、医療機関とオンライン情報の交換と相互相談のスピード化(例えばブロードバンドなど)。
7.	どこの病院でも費用について、全く説明がないのは解せない。
8.	センター内にがん専門の相談窓口があったら。

9.	医師、看護師はわかりやすく時間をかけて納得行くように説明してほしい。
10.	インターネットで病状をはじめ、経済的負担についても同病の方々が情報公開しているので参考になっている。
11.	手術から2年たちましたが一度も手術、入院、治療等についてお金がいくらかいかかるかお教えてもらったこともなく、自分からも聞きにくかったので請求されて初めて金額がわかった。
12.	病院の説明は、老人にわかるように詳しく説明が欲しい。
13.	治療方法の選択についてもっと詳しい説明が欲しい。
14.	一般人には、診療報酬の点数などが理解しづらい。
15.	治療費よりも治療内容を優先するので、その場では医師等に治療費のことは言いにくいですが、予め十分な説明があるとよい。また高額療養費の申請などについても病院で予め教えてもらいたい。
16.	がん専門病院に対する紹介状、セカンドオピニオンの紹介などを気楽に行ってくれれば、やみくもに医師探しをしなくてよいので。告知したら、専門医を紹介するシステム作りをして欲しい。
17.	役所で医療費貸し付けや、委任払いのシステムがあるのを、ほとんど知らないなので、もっとアピールすべき。
18.	相談方法について、FAX、インターネットなどで、がん診療に伴う様々な事項が相談できるといいのでは。
19.	状況によって気軽に情報が得られる機関があると良いと思っている。
20.	一般論のみの相談窓口は不要。積極的なセカンド・オピニオンの窓口が欲しい。
21.	同じ病気の人とお話しをしたいです。
22.	薬の金額等明細を領収書に書いてほしい。
23.	事前に病院から費用の説明(目安)をしてもらいたい。

薬価	
1.	注射、内服薬の値段を安くしてほしい。
2.	薬品代1ヶ月30万の支払いは、大変でした。
3.	薬代が高すぎます。
4.	抗がん剤治療が(再発してから)高額すぎるのがわかって驚きました。今まで働いてきたお金は、今後の自分の生命を買うために使うのだと思いました。
5.	必要な治療をしているので仕方がないが薬が高い。(院外の薬局なので高額療養費に含まれない。)
6.	薬物治療費(抗がん剤点滴等)が高額すぎる。
7.	薬が高額なので負担を少なくしてほしい。所得が少ないし、病気はがんだけではないの

	で。
8.	薬自体の値段を下げたい。
9.	がんの治療は長期に渡る(一生付き合いねばならない)為、薬や注射の費用を下げてもらいたい。
10.	がんの薬も負担を軽くしてほしい。
11.	保険適用になった場合、薬価の引き下げを図ってほしい。
12.	抗がん剤・放射線の治療費がかなり高額なので、もう少し引き下げてほしい。
13.	抗がん剤が高すぎる。
14.	がんの治療薬が、他の医薬品に比較して高額であることに驚きました。特に抗がん剤は高いと思いました。もっと安価にならないものかと思いました。
15.	抗がん剤を使用中、薬代が高額だった。部分的にでも公費負担などにしてほしい。

民間保険	
1.	がん保険に入っていたため、特に経済的に問題はなかった。
2.	がん保険に入っていましたので大いに助かりました。
3.	高齢化に伴い民間保険内容が制限され、保険金の給付対象(加入不可)とならない。
4.	病気を理由に、保険の新規加入や増額変更等ができない。術後5年経過して異常がない場合は、新規加入等ができるようになってほしい。
5.	一般保険は通院では保険金は出ない。
6.	入院日数を最小限に抑え、在宅治療のウエイトが高くなった。既往のがん保険は入院保証が主体、転移性の再発で通院で高価な抗がん剤に対する保険がない。新がん保険にのり替えができないのは残念です。
7.	民間保険に加入後3ヶ月でがん発病。100万の保障、簡保農協、県民共済等加入で安心して入院できました。
8.	がんであっても保険加入又は、継続できるシステムにしてほしいです。
9.	一度がんになると民間保険に入れない。(住宅ローンなどができない)
10.	保険は入っているが、その時だけで、相談しにくい。
11.	外国の保険会社の契約は明快で分かりやすいが、日本の保険会社の契約は特約条項が多く、極めて契約者にとって錯覚を与えるようにできていて不利なので、素人が契約を読んでも明快に分かるようにしてもらいたい

民間・代替療法	
1.	今飲んでいる薬(漢方)も高額療養費の対象としてほしい
2.	健康食品(サプリメント)の領収書も税金の控除の対象にしてほしい。
3.	民間療法についても高額な費用がかかっているので医療費還付として申請したい。

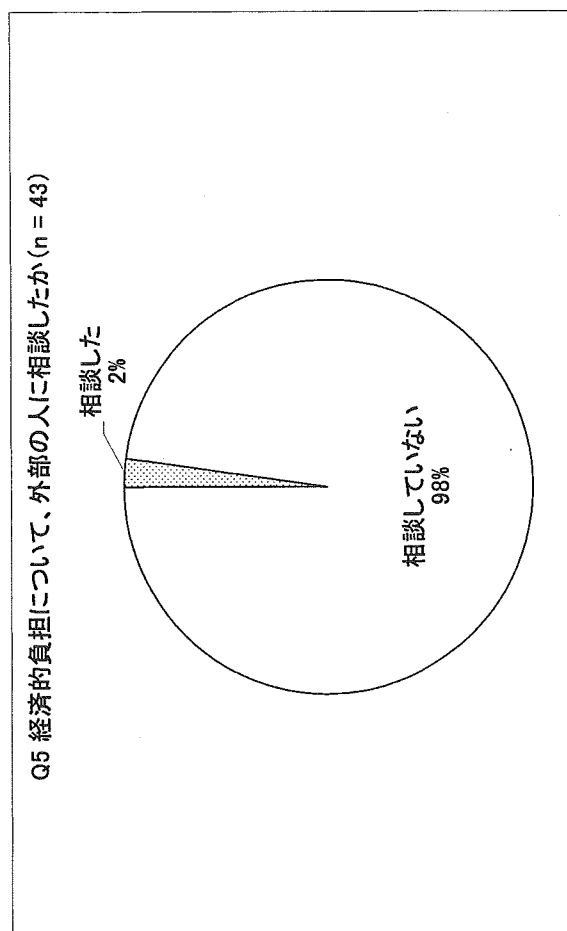
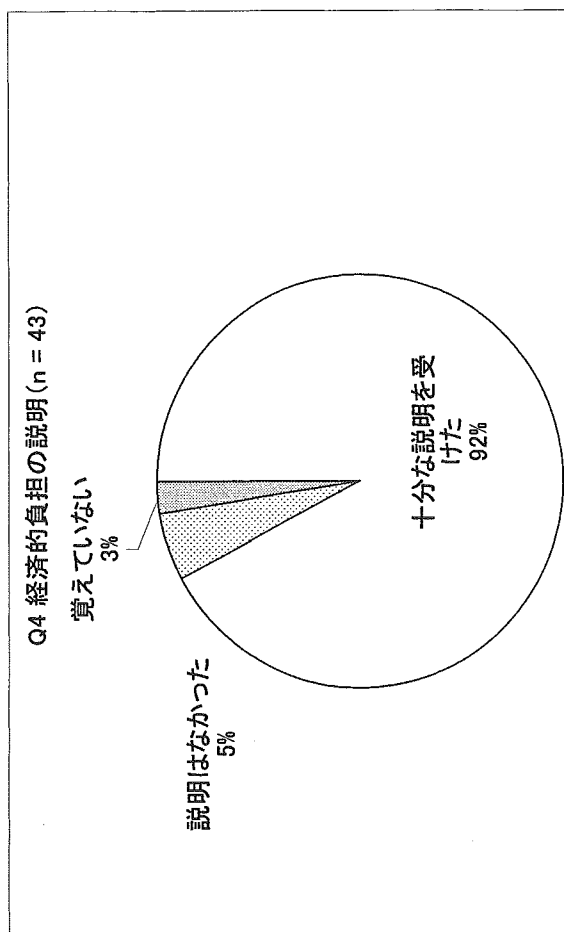
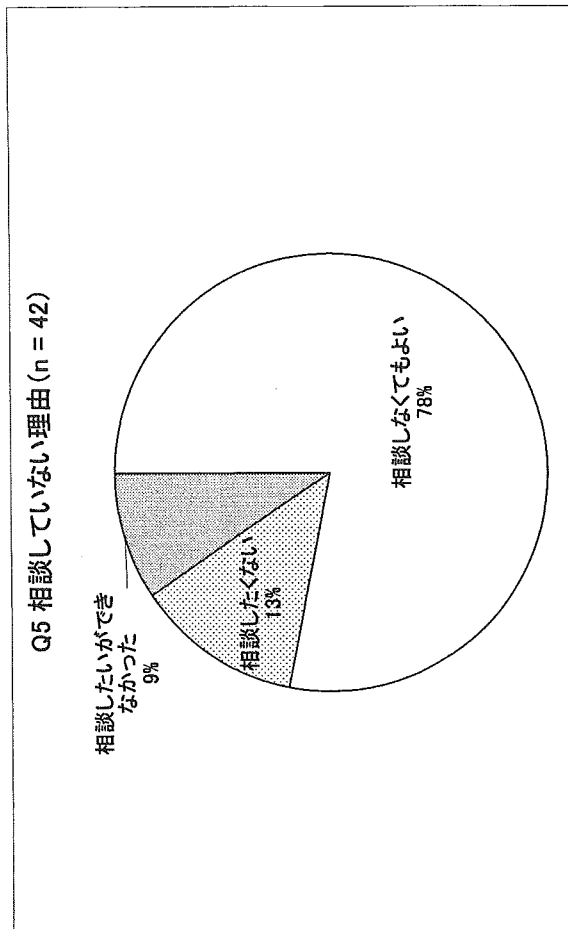
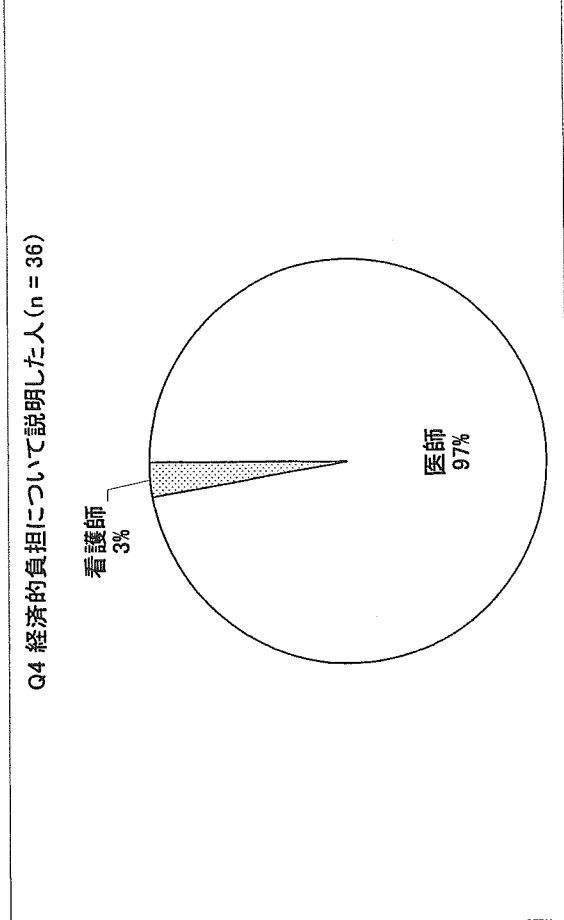


4.	がんに効果があるとされるキノコ類について保険で扱ってほしい。
5.	がんに効くキノコやその成分も保険が効いてくれると助かる。
6.	自分の体にあった健康食品を買う際に、公的保険を適用してもらいたい。
7.	保険適用の枠を広げてもらいたい。(例、ハリ治療やワクチン療法なども)
8.	健康食品等が安く購入できればとてもうれしい。
9.	健康食品に頼る所から色々な健康食品についての出費が大変です。(健康食品に対する負担額減措置を検討してほしい)

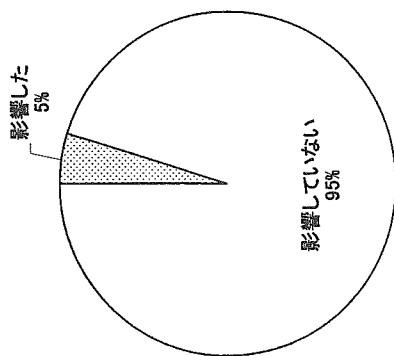
医療の質向上	
1.	専門医の増強、施設の充実。
2.	幸い都内に居住しているので、専門病院が近いが、以前は地方に居住していたこともあり地方にいても全国どこでも同じレベルの治療が受けられるとよい。
3.	ET ナース・WOC ナースのいる病院が近くにあると良い
4.	私は経済的負担や治療上の不安・在宅療養のコーディネーターなどをソーシャルワーカーの方が相談に乗り手配もしてくれました。できればこの病院にもいてほしいです。

家族の負担	
1.	入院、通院時の付き添い家族の経済負担(せめて交通費)に関しての税控除の実施。
2.	がん治療は長期間になるので、付き添いの人の宿泊できる所を設けてもらいたい。
3.	1人暮らしで年金生活なので子供に負担がかかり心苦しい。

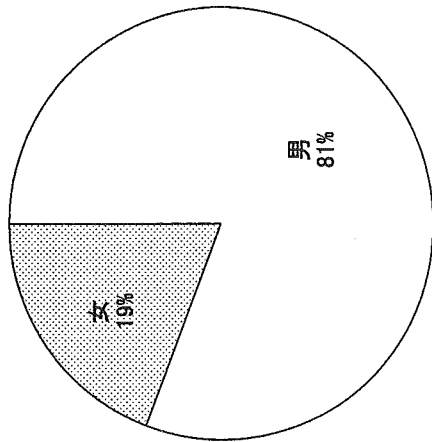
緩和医療	
1.	がん終末期にあつてホスピスの施設を多くして受け入れの場を作って欲しい。



Q7 陽子線治療にかかる経済的負担が、それ以外のがん治療に影響したか (n = 42)



Q10-1 性別 (n = 47)



Q10-4 現在の治療状況 (n = 48)

